

議事録

1. 件名：「令和 3 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性の検討用の試験体の設計」に係る技術検討会(第2回)
2. 日時： 令和 4 年 3 月 9 日(水) 15:00～17:00
3. 場所： 原子力規制庁 会議室(WEB 会議)

4. 出席者： 原子力規制庁

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門

日比野統括技術研究調査官、藤原技術研究調査官、高松技術参与

東芝エネルギーシステムズ株式会社

磯子エンジニアリングセンター 原子力システム設計部 エキスパート

磯子エンジニアリングセンター 原子力プラント設計部 主査

パワーシステム事業部 原子力技術部 参事

鹿島建設株式会社

原子力部 原子力設計室 担当部長 ほか 1 名

国立大学法人東京工業大学

名誉教授

国立大学法人東京大学

大学院工学系研究科 建築学専攻 教授

5. 要旨：

長官官房技術基盤グループ 地震・津波研究部門では、地震に対するフラジリティ評価手法の高度化の検討の一環として、過去に大きな地震を経験した既設プラントの(取り替えの利かない)設備の耐震性に係る知見を拡充するための安全研究を令和 3 年度から令和 6 年度にかけて計画し、実施している。

当部門では、本安全研究の一環として、東芝エネルギーシステムズ株式会社と請負契約を締結し、「令和 3 年度 鋼コンクリート製の原子炉本体基礎の復元力特性の検討用の試験体の設計」事業を実施している。

今回は、当事業に係る第2回技術検討会を実施した。内容は下記のとおり。

- ① 東芝エネルギーシステムズから、知見調査の結果、設計した試験体や試験装置、検討した载荷条件や計測計画、事前解析の結果について、説明があった。
- ② 試験体の境界条件、载荷条件、計測計画等について質疑があり、議論した。
- ③ 今後のスケジュールについて、確認した。

6. その他

特になし